

L1 ANSWER 1 OF 2 WPINDEX COPYRIGHT 2005 THE THOMSON CORP on STN
AN 1998-393373 [34] WPINDEX
DNC C1998-119226
TI Dermal composition comprises L-glutamic acid and 5'-ribonucleotide - used
for treating and preventing skin pigmentation, is fast acting.
DC B05 D21 E19
PA (SAIT-I) SAITO M
CYC 1
PI JP 10158149 A 19980616 (199834) * 3 A61K007-48 <--
JP 3110713 B2 20001120 (200101) 3 A61K007-48
ADT JP 10158149 A JP 1997-263083 19970929; JP 3110713 B2 JP 1997-263083
19970929
FDT JP 3110713 B2 Previous Publ. JP 10158149
PRAI JP 1996-262708 19961003
IC ICM A61K007-48
ICS A61K007-00; A61K031-195; A61K031-198; A61K031-215; A61K031-70;
A61K031-7068; A61K031-7076; A61P017-00
AB JP 10158149 A UPAB: 19980826
Dermal composition (I) for treating and preventing skin pigmentation,
comprises L-glutamic acid or its salt, ester or amide and
5'-ribonucleotide or its salt. Also claimed is treating or preventing skin
pigmentation by painting viscous (I) onto skin and keeping the painted
part covered.
ADVANTAGE - (I) is fast acting.
Dwg.0/0
FS CPI
FA AB; DCN
MC CPI: B04-B03B; B10-B02J; B12-M07; B14-N17; D08-B09A; E10-B02D5

**PARTIAL TRANSLATION OF
JAPANESE UNEXAMINED PATENT APPLICATION NO. 1998-158149**

[0017] Example 3

A composition for removing/preventing pigmentation comprising 97.5 parts by weight of sodium L-glutamate powder and 2.5 parts by weight of sodium 5'-ribonucleotide powder was prepared and dissolved in a small amount of milk lotion, yielding a viscous ointment. The milk lotion used was prepared by mixing the following components.

[0018]

[Formulation of milk lotion]

Antiinflammatory:	stearyl glycyrrhetinate
Whitening agent:	water-soluble placenta essence
Emulsifier:	polyglycerol monomyristate
Moisturizer 1:	concentrated glycerol
Oily emollient agent 1:	glyceryl tri-2-ethyl hexanoate
Oily emollient agent 2:	methylphenylpolysiloxane
Antiseptic agent 1:	paraben
Thickener 1:	carboxy vinyl polymer
Thickener 2:	xanthan gum
Saponifying agent:	potassium hydroxide
Antioxidant:	vitamin C derivative
UV absorber:	hydroxy methoxybenzophenone sulfonic acid
Refrigerant:	denatured alcohol
Antiseptic agent 2:	phenoxyethanol
Moisturizer 2:	chamomile essence
Moisturizer 3:	mulberry essence
Moisturizer 4:	water-soluble collagen solution
Moisturizer 5:	lactoferrin solution
Balance:	purified water

The lotion-based ointment thus obtained was applied to a pigmentation (chromosome) site before sleeping, and allowed to stand one night while being pressed with a nonwoven fabric.

The color of the pigmentation site was sharply reduced, though the site was remarkably dark-brown before applying the ointment. Moreover, the site did not darken again.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-158149

(43) 公開日 平成10年(1998) 6月16日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	F I		
A 6 1 K 7/48		A 6 1 K 7/48		
7/00		7/00		X
				C
				F
31/195	ADA	31/195	ADA	
審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 3 頁) 最終頁に続く				

(21) 出願番号	特願平9-263083	(71) 出願人	596143901 斎藤 ミサヲ 神奈川県三浦郡葉山町一色168-14
(22) 出願日	平成9年(1997) 9月29日	(72) 発明者	斎藤ミサヲ 神奈川県三浦郡葉山町一色168-14
(31) 優先権主張番号	特願平8-262708	(74) 代理人	弁理士 石川 泰男
(32) 優先日	平8(1996)10月3日		
(33) 優先権主張国	日本 (J P)		

(54) 【発明の名称】 皮膚の色素沈着を除去又は防止するための外皮用組成物および方法

(57) 【要約】

【課題】 皮膚の色素沈着を強力に除去又は防止することができる組成物及び方法を提供する。

【解決手段】 本発明においては、必須成分として

(1) L-グルタミン酸、その塩、エステル、又はアミド、及び(2) 5'-リボヌクレオチド又はその塩を含む色素沈着除去・防止用組成物を、必要に応じて溶液等の任意の剤形に調製し、皮膚の色素沈着がある部分又は色素沈着の発生を防止したい部分に塗布などの方法により適用する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 下記成分を含有することを特徴とする皮膚の色素沈着を除去又は防止するための外皮用組成物。

(1) L-グルタミン酸、その塩、エステル、又はアミド、及び(2) 5'-リボヌクレオチド又はその塩。

【請求項2】 前記の(2) 5'-リボヌクレオチド又はその塩の含有量が、(1) L-グルタミン酸、その塩、エステル又はアミドと(2) 5'-リボヌクレオチド又はその塩との合計重量に対して5重量%以下であることを特徴とする請求項1に記載の外皮用組成物。

【請求項3】 (1) L-グルタミン酸、その塩、エステル又はアミド、及び(2) 5'-リボヌクレオチド又はその塩を含有し、液体又は粘稠性流動体の形態をとっていることを特徴とする請求項1又は2に記載の外皮用組成物。

【請求項4】 前記の(1) L-グルタミン酸、その塩、エステル又はアミドと(2) 5'-リボヌクレオチド又はその塩とを、水に溶解又は分散させてなる水性液であることを特徴とする請求項3に記載の外皮用組成物。

【請求項5】 前記の(1) L-グルタミン酸、その塩、エステル又はアミドと(2) 5'-リボヌクレオチド又はその塩とを、ローションに溶解又は分散させてなる軟膏であることを特徴とする請求項3に記載の外皮用組成物。

【請求項6】 (1) L-グルタミン酸、その塩、エステル又はアミド、及び(2) 5'-リボヌクレオチド又はその塩を含有してなる粘稠性流動体の組成物を皮膚に塗布し、塗布した部分を密封して放置することを特徴とする皮膚の色素沈着を除去又は防止するための方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、主に美容の分野に属し、より詳しくは皮膚の色素沈着を除去するための組成物および方法に関する。

【0002】

【従来の技術】日焼けや加齢によって発生する皮膚の色素沈着（いわゆる「しみ」）は美容上の大きな問題である。そのため、皮膚の色素沈着を除去又は防止するために毎年数多くの美白化粧品が開発され発売されているが、色素沈着を完全に除去し又は防止するのは非常に困難である。そして、現在入手し得る美白化粧品の色素沈着除去・防止効果は必ずしも十分ではなく、消費者の欲求を十分に満足させるまでに至っていないのが実状である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記実状に鑑みて成し遂げられたものであり、その目的は、皮膚の色素沈着を強力に除去・防止することができ、その色を完全に消失させるか又は非常に薄くすることのできる組成

物及び方法を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明においては、下記成分を含有することを特徴とする皮膚の色素沈着を除去又は防止するための外皮用組成物を提供する。

【0005】(1) L-グルタミン酸、その塩、エステル、又はアミド、及び(2) 5'-リボヌクレオチド又はその塩。

【0006】また、本発明においては、上記外皮用組成物を用いて皮膚の色素沈着を除去又は防止することのできる優れた方法をも提供する。

【0007】

【発明の実施の形態】本発明において提供される外皮用組成物は、必須成分として下記の2成分を含有する。

【0008】(1) L-グルタミン酸、その塩、エステル、又はアミドの一種又は二種以上、及び(2) 5'-リボヌクレオチド又はその塩の一種又は二種以上。

【0009】L-グルタミン酸は公知のアミノ酸である。L-グルタミン酸はアミノ基とカルボキシル基を有する両性化合物であるから、例えば塩酸塩のような陰イオンと結合した塩にもなるし、一方、例えばナトリウム塩のような陽イオンと結合した塩にもなるが、本発明においては、どちらの塩を使用してもよい。また、遊離L-グルタミン酸又はその塩の代わりに、エステル体又はアミド体などのL-グルタミン酸誘導体を使用してもよい。

【0010】一方、5'-リボヌクレオチドも公知の物質である。5'-リボヌクレオチドは遊離体のものを使用してもよいし、その塩、例えばナトリウム塩等を使用してもよい。ここで、ヌクレオチドとはヌクレオシドのリン酸エステルの総称であり、さらにヌクレオシドとは、プリン塩基又はピリミジン塩基と糖がグリコシド結合したものの総称である。5'-リボヌクレオチドの場合には、糖部分がD-リボースであり、リン酸基がD-リボースの5'位に結合している。本発明において5'-リボヌクレオチドを構成するプリン塩基又はピリミジン塩基は特に限定されないが、代表的にはアデニンやグアニン等のプリン塩基及びシトシンやウラシル等のピリミジン塩基を例示することができる。

【0011】上記の外皮用組成物を皮膚へ適用するための具体的な剤形及び方法は特に限定されるわけではなく、各種の外皮用薬剤又は皮膚用化粧品の形態に調製して使用できる。例えば、上記組成物を溶液又は分散液のような液体に調製したり、軟膏やクリームのような粘稠性の流動体に調製したものを、皮膚の色素沈着がある部分又は色素沈着の発生を防止したい部分に塗布することが可能である。

【0012】L-グルタミン酸又はその誘導体と5'-リボヌクレオチド又はその誘導体を水に溶解又は分散さ

せた水性液は、単純な組成ではあるが、特によい効果が得られる。また、本発明の外皮用組成物を色素が沈着した部分又は色素沈着を防止したい部分に塗布し、塗布した部分を不織布や医療用サージカルテープなどで押さえて密封して数時間放置しておく、液状の組成物を使用する場合と比べて有効成分が持続的に作用するので、特にすぐれた美白効果が得られる。

【0013】Ｌ－グルタミン酸又はその誘導体と５’－リボヌクレオチド又はその誘導体との配合割合も特に限定されないが、通常は後者に比べて前者のＬ－グルタミン酸類の方を多量に配合する。例えば、（１）Ｌ－グルタミン酸、その塩、エステル又はアミドに該当する成分群と（２）５’－リボヌクレオチド又はその塩に該当する成分群との合計重量に対して、（２）５’－リボヌクレオチド又はその塩に該当する成分群の総含有量を５重量％以下とし、好ましくは０．１～５重量％とすることができる。

【0014】

【実施例】以下に、実施例を通じて本発明をさらに詳しく説明する。

【0015】（実施例１）Ｌ－グルタミン酸ナトリウムの粉末９７．５重量部及び５’－リボヌクレオチドナトリウムの粉末２．５重量部からなる色素沈着除去・防止用組成物を採取し、これを少量の水に溶解して濃厚な水溶液を調製した。このようにして得られた液状の色素沈着除去・防止用組成物を、８１歳の女性の手の甲にある色素沈着（しみ）の部分に一回だけ塗布した。色素沈着部分は、塗布前にはかなり濃い茶色であったが、塗布から約６時間後にその色が非常に薄くなり、その部分の色が再び濃くなることはなかった。

【0016】（実施例２）実施例１と同様に調製した液状の色素沈着除去・防止用組成物を、４６歳の女性の手の甲にある色素沈着（しみ）の部分に一回だけ塗布したところ、実施例１と同様の結果が観察された。

【0017】（実施例３）Ｌ－グルタミン酸ナトリウムの粉末９７．５重量部及び５’－リボヌクレオチドナトリウムの粉末２．５重量部からなる色素沈着除去・防止用組成物を採取し、これを少量のミルクローションに溶解して粘稠な軟膏を調製した。ミルクローションは下記成分を配合して調製したものである。

【0018】〔ミルクローションの成分組成〕

抗炎症剤：グリチルレチン酸ステアリル
 美白剤：水溶性プラセンタエキス
 乳化剤：モノミリスチン酸ポリグリセリル
 保湿剤１：濃グリセリン
 油性エモリエント剤１：トリ－２－エチルヘキサン酸グリセリル
 油性エモリエント剤２：メチルフェニルポリシロキサン
 防腐剤１：パラベン
 増粘剤１：カルボキシビニルポリマー
 増粘剤２：キサンタンガム
 けん化剤：水酸化カリウム
 酸化防止剤：ビタミンＣ誘導体
 紫外線吸収剤：ヒドロキシメトキシベンゾフェノンスルホン酸
 清涼剤：変性アルコール
 防腐剤２：フェノキシエタノール
 保湿剤２：カモミラエキス
 保湿剤３：クワエキス
 保湿剤４：水溶性コラーゲン液
 保湿剤５：ラクトフェリン液
 残部：精製水

このようにして得られたローションベースの軟膏を、就寝前に色素沈着（しみ）の部分に塗布し、不織布で押さえて一晩放置したところ、塗布前にはかなり濃い茶色であった色素沈着部分の色が非常に薄くなり、その部分の色が再び濃くなることはなかった。

【0019】（実施例４）実施例１と同様に調製した液状の色素沈着除去・防止用組成物を、就寝前に色素沈着（しみ）の部分に塗布し、不織布で押さえて一晩放置したところ、塗布前にはかなり濃い茶色であった色素沈着部分の色が非常に薄くなり、その部分の色が再び濃くなることはなかった。本実施例の美白効果は、塗布部を不織布で押さえなかった実施例１やローションベースの軟膏に調製した実施例３よりも優れていた。

【0020】

【発明の効果】以上に説明したように、本発明によれば、（１）Ｌ－グルタミン酸及び／又はその誘導体と（２）５’－リボヌクレオチド及び／又はその誘導体とを主成分とする色素沈着除去・防止用組成物を皮膚に適用することによって、強力且つ速やかに皮膚の色素沈着を除去し又は防止することができる。

フロントページの続き

(51) Int. Cl. 6

A 6 1 K 31/215
 31/70

識別記号

F I

A 6 1 K 31/215
 31/70